

# 日米医学医療交流財団 医学部夏期集中医学英語研修プログラム助成

## 研修報告書 ( 2014年度 助成者)

作成日 2014年 9月 3日

氏 名	百瀬 直也 (ももせなおや)
研修先機関名	<u>Hawaii Tokai International College</u>
研 修 期 間	2014年8月13日 (水) ~ 8月20日 (水)
大 学 名	金沢大学
学 年	5年

今回当財団からの助成金を頂き、Hawaii Tokai International College で開催された1週間の Medical English Workshop に参加して参りました。このように学外にて行われる Workshop に参加すること自体が初めてだったので、初めは右も左も分からず戸惑うこともありましたが、終わってみると本当に色々なことを経験し、吸収できた1週間を過ごすことができたと思えました。今まで将来臨床留学をしてみたいと漠然と思うだけで実際に医学生として海外に行くことはありませんでしたが、この Workshop に参加してみて、よき友に巡り会い、色々なことを勉強し、さらにはハワイの文化にも触れることができました。今後の勉強に関して、またキャリアプランに関して、より具体的にイメージを掴むことができるようになりました。

この Workshop には東海大学、神戸大学を始め北海道大学、日本医科大学、京都大学、金沢大学の学生が参加しており、年齢、性別もバラバラな医学生と巡り会うことができました。”井の中の蛙大海を知らず”とはまさにこのことで、他の大学には本当に同じ学年なのかと思う程、知識量も思考力もずば抜けて高い学生がこんなにもいたのかと気づかされました。それでいて1歩も2歩も出遅れている私にも優しく教えてくれ、心から尊敬できる友人を持つことができたと思います。彼らには本当に刺激を受けたので、大学に戻ってから彼らに追いつくべく勉強会を同じ5年生を中心にしていこうと今計画を練っているところです。また、将来アメリカで臨床留学をしたいという同じ目標を持った学生に出会えたことも大きな収穫の一つでした。留学までの道のりには、USMLE の受験や英語力の向上、マッチングと大きな壁がいくつも立ちはだかっています。そんな困難な道を共に支え合い、切磋琢磨できる友を持つことができ、これから一人ではなし得ないであろうことも、一緒に乗り越えて行けるのではないかと感じています。

また、1週間でかなり過密なスケジュールで色々なレクチャーを受けました。午前中の English Communication, Medical English, Medical Ethics に始まり、午後は History Taking, Differential Diagnosis, Case Presentation の練習などを行いました。日本でもほとんど Medical Ethics の授業は受けたことがなく、かなり頭を悩ませることも多かったのが実際のところでしたが、みんなで意見を出し合って考えていくことで、グループワークの大切さ、柔軟な発想と人の意見を聞くことの大切さなど多くのことを学ぶことができました。また、History Taking や Case Presentation など、日本語でもうまくできないことを英語で行うなど無理だと始めは思っていたのですが、先生方の指導やハワイ大学医学部の学生の協力もあり、最低限のことまではできるようになったのではないかと思います。今までは手術や検査などの手技にしか興味がありませんでしたがしっかりと問診をして鑑別疾患を考えていくプロセスの楽しさに気づくことができました。そのようなトレーニングをこれまでしてこなかったのが、かなり苦戦しましたが、今後本や勉強会を通してレベルアップさせていきたいと考えています。

さらにハワイの文化に触れ、多くのことを発見しました。ハワイの自然の壮大さであったり、人柄などもそうですが、異なる文化を持つ者同士が互いを理解しあい、信頼関係を築くことの難しさなど今までは考えもしなかったことにも気づくことができたと思います。その中でもハワイの人々の寛大さを肌でひしひしと感ずることができました。

この1週間で多くのことを得ることができました。もう一度参加したいほど今回の Workshop に参加できてよかったと思います。大学にいただけでは学べないことがこの Workshop では学べるので、後輩にもこの Workshop を勧めたいと考えています。この Workshop に参加させて頂きありがとうございました。

